

三菱HCキャピタルと Shizen Connect が資本業務提携契約を締結 IoT・AIを活用し、電力需給の最適化によるエネルギー設備の価値向上をめざす

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員：久井 大樹／以下、三菱HCキャピタル)と、蓄電池や給湯器などのエネルギー設備を IoT・AI により統合制御する VPP^{*1}プラットフォームを開発・提供する株式会社 Shizen Connect(代表取締役 CEO：松村 宗和／以下、Shizen Connect)は、このたび、資本業務提携契約(以下、本提携)を締結しました。なお、本提携に伴い、三菱HCキャピタルは Shizen Connect が実施するシリーズ A ラウンド^{*2}への第三者割当増資に参画します。

今後、両社は本提携を通じて、企業が保有する多様なエネルギー設備の最適な活用を実現するサービスの構築をめざし、電力需給の最適化とエネルギー設備の価値向上に貢献していきます。

1. 本提携の背景について

再生可能エネルギー(以下、再エネ)の導入拡大に伴い、電力需給の調整や蓄電池の運用、分散型電源の制御の重要性が高まっています。特に、低圧発電所や蓄電池などのエネルギー設備の普及・多様化が進むなか、これらを効率的に活用しながら需給バランスを維持することが求められています。

こうしたなか、分散するエネルギーリソースを統合制御し、電力需給の最適化と市場価格や需給に応じた柔軟な電力取引・運用を可能にする VPP は、再エネの出力変動への対応やエネルギー設備の有効活用を支える基盤としても期待されています。

2. 本提携の内容について

本提携にもとづき、両社は、低圧発電所、蓄電池、給湯器などのエネルギー設備を対象に、IoT・AI を活用した最適な制御・運用の検証や共同開発を進めていきます。

三菱HCキャピタルは、グループ会社であるMHCリニューアブルネットワークス株式会社(代表取締役：鶴見仁嗣／以下、MHCリニューアブルネットワークス)が保有する低圧発電所において、FIP 転換^{*3}や蓄電池の併設を進めるとともに、VPP を活用した電力市場に応じた最適な制御・運用の検証を進めます。あわせて、これまで蓄積した低圧発電所の事業運営のノウハウや、多様な設備へのファイナンスを通じて培った知見を生かし、企業が利用するエネルギー設備の最適な制御・運用に資するサービスの事業化および価値提供を推進します。

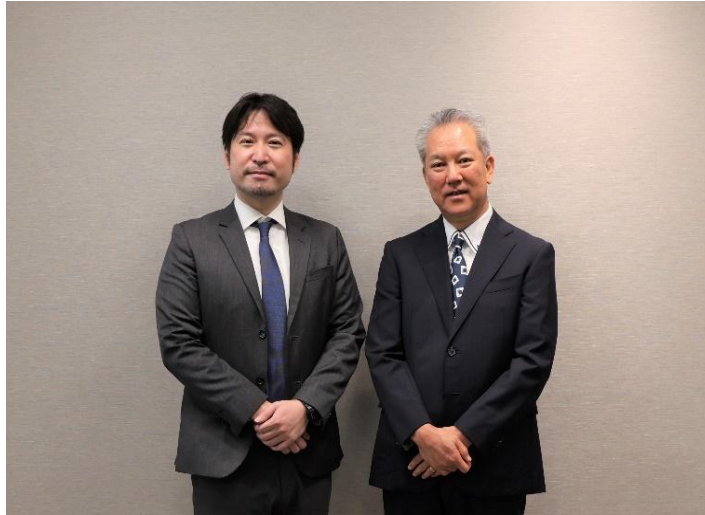
Shizen Connect は、IoT・AI を活用した VPP プラットフォームを通じて、エネルギー設備の統合制御や電力市場に対応した柔軟な運用を支える技術・ノウハウを提供するとともに、MHCリニューアブルネットワークスが保有する低圧発電所や、三菱HCキャピタルが保有する多様な設備を活用した実証を通じて、企業が保有する多様なエネルギー設備への適用も見据えた、最適な制御・運用に資するシステムの高度化を推進します。

両社は本提携を通じて、低圧発電所の FIP 転換や、企業が保有する多様なエネルギー設備を活用した DR^{*4} サービスの構築をめざすとともに、エネルギー設備の価値向上および脱炭素社会の実現に貢献していきます。

なお、本提携は、三菱HCキャピタルが、スタートアップ企業とのオープンイノベーションを通じた新サービスの創出、新事業の開発促進を目的に運用する、「イノベーション投資ファンド^{*5}」を活用したものです。また、本提携に基づく出資は、

Shizen Connect が実施するシリーズ A ラウンドの一環として行われます。

■資本業務提携契約締結時の様子



(左: Shizen Connect 代表取締役 CEO 松村 宗和
右: 三菱HCキャピタル カスタマーソリューションユニット 営業統括本部長 常務執行役員 中村圭吾)

- *1 VPP(バーチャルパワープラント／仮想発電所)：太陽光パネル、蓄電池、給湯器などの分散型エネルギーリソースを IoT 技術でひとまとめに統合・制御し、あたかも 1 つの大きな発電所のように機能させる仕組み。
- *2 2026 年 5 月 25 日付プレスリリース「Shizen Connect、シリーズ A ラウンド 1st クローズで 27 億円を調達」
https://www.se-digital.net/pressrelease_260525_funding-series-a-1st-close/
- *3 FIP 転換：固定価格買取制度(FIT)から市場価格と連動した売電制度への転換
- *4 DR(デマンド・レスポンス)：電力需要側の電力使用量を制御することで、電力の需要と供給のバランスを調整する仕組み。需要制御のパターンにより、需要を減らす(抑制する)「下げ DR」と、需要を増やす(創出する)「上げ DR」の 2 つに区分される。
- *5 2023 年 6 月 8 日付ニュースリリース「総額 100 億円のイノベーション投資ファンドを創設」
mitsubishi-hc-capital.com/news/assets/pdf/2023060801.pdf

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、国内外で約 8,000 名の従業員を擁し、主に法人向けにさまざまな機器・設備・車両や航空機・海上コンテナ・鉄道貨車などを対象として、世界 20 カ国以上でリース・ファイナンス事業を展開、さらに、不動産再生事業や再生可能エネルギー事業などに事業領域を拡大しています。これらのビジネスを通じてお客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■Shizen Connect について

Shizen Connect は系統用・再エネ併設の蓄電池から家庭用の蓄電池・エコキュート・EVなどのエネルギー機器をIoT/AI技術で制御し、最適な電力市場取引などを行うVPP（仮想発電所）プラットフォーム「Shizen Connect」を開発・提供しています。

DR・VPP プラットフォーム、RA プラットフォームの法人契約件数ベースの市場シェア No.1（調査機関名非公開、2025 年度）及び AC システム・RA システムの法人契約件数ベースの市場シェア No.1（富士経済調べ、2025 年度）を獲得しております。

家庭用 DR 領域では東京ガス、東京電力エナジーパートナー、東北電力、北陸電力、北海道電力などに採用され、系統用蓄電池領域では大阪ガス、東京ガス、JERA Cross、四国電力、北陸電力などに採用されています。

詳しくは、株式会社 Shizen Connect のウェブサイトをご覧ください。

<https://se-digital.net>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002

株式会社 Shizen Connect

広報担当

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2 丁目 4 番 7 号

e-mail : sc-pr@shizenenergy.net

以 上